授業科目　公衆衛生看護活動演習Ⅰ

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	看護
宇田　優子、杉本　洋、島貫　秀樹	開講時期	前期	必修選択	必修
	単位数	1	時間数	30

【カリキュラムポリシーとの関連性】

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
○	○	○	○	○

【概要】
公衆衛生看護活動の固有の技法である地域アセスメントの過程を学ぶ。

【学習目標・行動目標：SBO】
1．演習した地域の特性について述べることができる
2．演習した地域の既存資料を基に健康指標を抽出できる
3．健康課題を分析できる
4．健康課題の優先順位を考えることができる

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1、2	演習地域の地域特性を把握する	1	講義・グループワーク
3～8	演習地域の健康指標を抽出する	2	講義・グループワーク
9～12	演習地域の健康課題の分析	3	講義・グループワーク
13	健康課題の優先順位の決定	4	講義・グループワーク
14、15	演習地域の地区踏査の準備	1	講義・グループワーク

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格 他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	未定			
参考書				
その他の資料				

【評価方法】
出欠、演習への貢献度　20%
テスト又はレポート、演習の成果物　80%

【履修上の留意点】